

科目名	子ども理解と援助		
担当講師	田子 文子	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 30 時間・1 単位	開 講 学 年	1 学年 後期
評価基準	授業への参加意欲（10％）・提出物（10％）試験（80％）		
目 標	1 子ども理解が保育の始まりであり、子どもの行為のどこを見て何を理解しどう援助するのか、その基本を学ぶ 2 子ども理解を深め援助の質を高めていくための記録の取り方・保育への生かし方を学ぶ 3 保育者の協働性について学ぶ		
回	講 義 内 容	方 法	
1	保育の始まりとしての子ども理解の重要性	講義	
2	保育の始まりとしての子ども理解の重要性	講義・演習	
3	乳児期の発達に応じた援助とかわり	講義・演習	
4	乳児期の発達に応じた援助とかわり	講義・演習	
5	幼児期の発達に応じた援助とかわり	講義・演習	
6	教育実習のエピソード記録から子ども理解を深め保育実践へつなぐ	講義・演習	
7	教育実習のエピソード記録から子ども理解を深め保育実践へつなぐ	講義・演習	
8	教育実習のエピソード記録から子ども理解を深め保育実践へつなぐ	講義・演習	
9	教育実習のエピソード記録から子ども理解を深め保育実践へつなぐ	講義・演習	
10	子どもの見取りと記録から保育実践へ	講義・演習	
11	子どもの見取りと記録から保育実践へ	講義・演習	
12	特別な配慮を要する子どもの理解と援助 保育カウンセラーとの連携	講義・演習	
13	保育カンファレンスと保育者同士の協働	講義・演習	
14	子ども理解から子育ての支援へ	講義・演習	
15	まとめ・試験	講義・演習	
テキスト・参考書	「保育の心理学」宮川萬寿美 神蔵幸子編著 青踏社		